

第 20 回北陸雪崩講習会 （実技講習実施要綱）

平成 28 年 2 月 25 日(土)・26 日(日)

講習場所：立山山麓スキー場とその周辺(1 日目)

立山少年自然の家とその周辺(2 日目)

《基礎応用コース》 1 日目

時間	項目・内容
7 : 00~7 : 30	受付
7 : 30~7 : 45	開講式
7 : 45~8 : 00	班分け・装備分け・装備確認
8 : 00~12 : 00	実技講習開始 ※入山前のビーコンチェック ※ラッセルしながら講習場所(旧金山ゲレンデ)へ移動する。 行動判断の要素・CT テスト・断面観察の記入
12 : 00~13 : 00	昼食休憩（各班の講師判断で時間を設定）
13 : 00~13 : 30	雪面観察・記録 ※特別講師：川田先生の講義
13 : 30~15 : 00	ビーコン搜索・プロービング・掘り出しの練習 各メンバーの役割(見張り、万が一、トップが流された際の消失地点の把握、速やかにプローブやショベルを準備できるかなど)
15 : 00~16 : 30	下山。少年の家に帰還
17 : 40~18 : 30	夕食
18 : 30~19 : 00	入浴
19 : 30~21 : 00	机上講習（事前課題のディスカッション）
21 : 00~22 : 00	懇親会
22 : 00~	就寝

2日目

時間	項目・内容
7:00~7:30	清掃
7:30~8:00	朝食
8:00~10:30	講習会場へ移動 ※講習開始 ① 前日の捜索訓練の様子を動画(撮れれば)で確認。 良かった点・注意点を説明(机上) ② プローブによる捜索・掘り出し・仮搬送。動画を記録し確認する 講習まとめ
11:00~11:45	机上講習 (特別講師:川田先生) ・天気と雪質、雪崩との関連性について (天気予報から推測できること)
11:45~12:00	閉講式
12:00~	昼食後 解散

※基礎応用コースの概要

実際に積雪の斜面を歩ながら基礎コースで習った弱層テスト及び積雪の断面観察などを行いながら登ってみます。

ビーコンでの捜索と掘り出しも行います。ここでは本番の雪山の行動においてテストや記入をやらなくても体感や経験の積み重ねを重点に行動できるように、日頃の練習の中でその感覚を磨くことを目指しています。

※実技講習にあたって

①実際に山に入りますので、事前に十分に体調を整えて講習に臨まれるようお願いいたします。

山では、必ず講師・スタッフの指示に従って行動してください。また、事前に装備のチェックをしっかりと行っていただき、お忘れ物がないようお願いいたします。

②1日目の夜に事前課題のディスカッションを行います。よりよいディスカッションを行うため、解答できる範囲でいいので、必ず書いて持参してくるようお願いいたします。

③もし、分からないこと、質問したいことがございましたら、講師・スタッフの方まで、お願いいたします。

